

# チャペル週報

No.16

2014.9.29～10.3

キリストは、神の身分でありながら、  
神と等しい者であることに固執しようとは思わず、  
かえって自分を無にして、しもべの身分になり、  
人間と同じものになりました。

フィリピの信徒への手紙 2章6～7節



中央講堂ロビー ステンドグラス

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

9月29日(月) 神 <臨床牧会実習報告> 確井英俊 (神学研究科M2)  
経 学生生活オリエンテーションPart 2 ①  
人 高橋博厚 (神学研究科D3)  
聖 聖書物語 イエスのたんじょう・はじめての宮まいり・東の国のはかせたち  
理 前川裕 (宗教主事)

---

9月30日(火) 神 <臨床牧会実習報告>小西清信 (神学研究科M2)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 「孤独」について① 中道基夫 (神学部教授)  
法 栗林輝夫 (宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーションPart 2 ②  
商 創立125周年を祝い覚える Ruth M. Grubel (院長)  
国 創立125周年をおぼえて 平林孝裕 (宗教主事)  
聖 日浦直美 (教育学部長)  
総 Eco-habitat 関西学院

---

10月1日(水) 神 <125周年記念 神学部・中学部 交流チャペル>安田栄三 (中学部長)  
社 「孤独」について② Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)  
法 English Chapel Christan Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 学生生活オリエンテーションPart 2 ③  
商 創立125周年を祝い覚える 神田健次 (神学部教授)  
人 武田丈 (人間福祉学部教授)  
国 トルコ交流セミナー報告 市川 顯 (産業研究所准教授)  
聖 田淵結 (教育学部宗教主事)  
理 前川裕 (宗教主事)  
総 村瀬義史 (宗教主事)

---

10月2日(木) 神 <夏期派遣実習報告> 榮 巖 (神学研究科M1)  
文 音楽チャペル・ゴスペルクワイアP.O.V.  
社 「孤独」について③ 打樋啓史 (宗教主事)  
法 栗林輝夫 (宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーションPart 2 ④  
商 創立125周年を祝い覚える 平松一夫 (商学部教授)  
国 English Chapel Timothy Y. Tsu (国際学部教授)  
聖 学生YMCA 大島青松園訪問報告  
総 細見和志 (総合政策学部教授)

---

10月3日(金) 院 加納和寛 (神学部准教授)  
神 <125周年記念 神学部・中学部 交流チャペル>岡本秀一 (中学部教諭)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーションPart 2 ⑤  
人 125周年を覚えて 関西学院グリーンクラブ  
聖 Michael G. Skelton (教育学部教授) わが道は、あなたがたの道とは異なっている  
理 前川裕 (宗教主事)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)  
10月3日(金) 創立者の働きを覚えて 神田健次 (学院史編集室長)

---

# 創立125周年を迎えて

## ～受け継がれる心のバトン

安 田 栄 三

125年前に神戸原田の森に蒔かれた関西学院の種が、今年、中学部では男女共学の完成という形で花を咲かせました。新制中学になってから、中学部初代部長の矢内正一先生は、「今スタートしようとしているこの中学部は、まだ立派な校舎もないし、図書もないし、先生の数も足りない。しかしこの学校には君たちがいる。それが私の希望だ」そう仰って、新たな歩みを始められました。生徒と共に毎朝駆け足をつけ、瀬戸内海の無人島「青島」を買ってキャンプ場を作り、生徒と共にその場所で祈り、労働し、そうやって共に生きる生活を体験させることによって、生徒たちがたくましく成長することを、先生は望んでおられました。「生徒たちこそが希望である」その原点は、新しい立派な校舎や体育館が建てられた今も、少しも変わっていません。生徒と共に真摯に汗を流す大人たちと、大きな希望を抱いて入学してくる生徒や保護者の方との真剣な出会いが、中学部の伝統を支えています。

下級生に共学の学年を迎えた上級生たちは、少しでも良い中学部にしてバトンを渡そうと、共学学年の後輩たちが心から誇りに思える学校づくりに力を尽くしてくれました。女子生徒たちは「私たちが入学したことで、関学がだめになったとは絶対言わせない」その言葉通り、誠実でしっかりした中学部生活を過ごしてくれています。本当に感謝です。

私が生徒たちに願っている一番大切なことは、人の痛みのわかる人間へと成長してくれることです。毎日の生活の中で、さりげない優しさを発揮してくれる生徒たち、その基本は、校舎内や体育館、グラウンドで出会った時の明るい笑顔での挨拶と、毎日行われる礼拝で中学部に響き渡る、心のこもった賛美歌の歌声です。「挨拶、祈り、歌声、笑顔、思いやり」この五つが実践できれば、必ずその集団は素晴らしいものになると信じています。

修学旅行の長崎平和学習でも、毎年中学部生に話をしてくださる被爆者の方は、「平和の原点は、人の痛みのわかること。皆さんはこの先どんなことがあっても、前を向いて生きる勇気を選んでほしい」そう語りかけてくださいます。多くの方に支えられて生きる関学生は本当に幸せです。自分にしかできない、神様から与えられた役割を大切にして、他者のためにおおらかに自分の人生を生き抜いてほしいと願います。

(中学部長)

### ●秋の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、秋の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：9月29日(月)～10月3日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

### ●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち46人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランパス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：10月4日(土) 10:00～16:00

と ころ：ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)

指導者：太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催：宗教センター

### ●ランパスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月21日(火)

11月18日(火)

いずれもランパス記念礼拝堂(上ヶ原)にて10:35～11:05

### ●夕べの祈り at ランパス ～ テゼの音楽とともに ～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。秋学期は以下の3回行ないます。どなたでもご参加ください。

第1回 10月2日(木) 18:30～20:00

第2回 11月6日(木) 18:30～20:00

第3回 1月8日(木) 18:30～20:00

と ころ：ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催：夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

### ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施しています。(17:50～18:20 1405教室)

主題：「関西学院創立125周年を覚えて」

10/2(木) 田淵 結(宗教総主事)

10/9(木) Jeffrey Mensediek(宗教センター宗教主事)

10/16(木) 舟木 譲(大学宗教主事)

10/23(木) Jeffrey Mensediek(宗教センター宗教主事)

10/30(木) 山本俊正(院長補佐)

### ●リトリート at 千刈 ～ テゼ共同体のブラザーを迎えて ～

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師を迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

と き：11月29日(土)～30日(日)

と ころ：関西学院千刈キャンプ

主 催：関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ：宗教センター(吉岡記念館事務室)

### ●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。